

1. 滋賀県 2. 和歌山県 3. 奈良県 4. 三重県

1. 大阪などの大都市圏に出版・報道機関が集中しており、印刷物の需要が大きいため。

2. 歴史的建造物が多く、文化財の修復や保存のための特殊な印刷技術が発達したため。

3. 原材料となるパルプの輸入に適した大規模な港湾施設が、阪神工業地帯に整備されているため。

4. 内陸部の広大な土地に、全国の教科書を一括して生産する大規模な工場団地が建設されたため。

1. 輪島塗のような漆器産業が17品目のうち過半数を占めており、近畿地方における伝統工芸の供給拠点となっている。
2. 伝統的工芸品の種類は多いが、人口密度が高いため職人の確保が難しく、小千谷縮のように農村部の副業として発展した品目が中心である。
3. 長い歴史の中で都として栄えた背景から、西陣織や清水焼などの高い技術を要する工芸品が現代まで数多く継承されている。
4. 人口密度が高いため、都市近郊農業と並行して、九谷焼などの色鮮やかな陶磁器を大規模な工場で工業生産している。

1. 平安京遷都から明治時代初期まで長きにわたり都が置かれ、時の権力者や宗教勢力によって優れた建造物が集まるのに造られたため。
2. 近畿地方の中で最も面積が広く、平野部が多いために、多くの歴史的な集落や寺社を建立する土地の余裕があったため。
3. 明治維新以降、欧米の文化をいち早く取り入れるために、日本中の歴史的建造物を京都に移築して保護する政策がとられたため。
4. 江戸時代に幕府が置かれたことで、全国の諸大名が競って豪華な城郭や武家屋敷を京都に建設したため。

1. 六甲山地などの山々と海に挟まれた平野部に位置し、古くから港湾が整備されたことで原材料の輸入や製品の輸送に有利であった。
2. 周辺を険しい山々に囲まれた盆地であり、周囲との交流が遮断されていたため、伝統的な工芸品や繊維工業が中心となった。
3. 大規模な河川の河口部に位置し、その豊富な水量を利用した水力発電によって、明治初期からアルミニウム工業が盛んになった。
4. 広大な関東ローム層の台地が広がっており、地盤が強固であったため、精密機械工業や電子部品工業が内陸部で独自に発達した。

1. 広大な平野を利用して、大規模な稲作と農機具製造が結びついた。
2. 豊富な木材資源を利用した、製紙・パルプ工業が内陸部で発展した。
3. 大規模な石油化学コンビナートが形成され、重化学工業が発展した。
4. 古くからの歴史的景観を活かし、伝統的な繊維工業のみに特化した。

1. アジア近隣諸国からの格安航空会社（LCC）利用客が、安価な日用品の大量購入を目的に訪れる。
2. 伝統文化への関心が高いアメリカ合衆国など、欧米からの宿泊客が他県より多い傾向にある。
3. 自然景観の保護を優先するため、外国人の宿泊施設利用を厳しく制限している。
4. 自動車産業の拠点が集積しているため、欧米からのビジネス目的の宿泊客が過半数を占める。

1. 和歌山県 2. 三重県 3. 奈良県 4. 滋賀県

1. 標高の高い山地が広大な面積を占めているため、人々は山頂付近に大規模な都市を建設し、生活の拠点としてきた
2. 六甲山地などの山地と海に挟まれた平地が限られているため、海岸線を埋め立てて都市機能や港湾を拡張させてきた
3. 大阪湾沿岸部は非常に標高が高い崖になっているため、港を建設することができず、内陸の盆地を中心に貿易が行われた
4. 丹波高地から大阪平野にかけて標高差がまったくないため、河川の氾濫を防ぐための大規模な堤防が必要なかった

1. 重化学工業の割合が高いだけでなく、周辺の広大な消費市場を背景に食料品工業も発展している。

2. かつては繊維工業が中心であったが、現在は北九州工業地帯と同様に鉄鋼業の出荷額が最も多い。

3. 大規模な石油化学コンビナートが集中しており、化学工業のみに特化した構造となっている。

4. 自動車産業の集積が著しく、製造品出荷額の過半数を機械工業が占めている。

1. リアス海岸 — 伊勢志摩国立公園 2. フィヨルド — 知床国立公園 3. リアス海岸 — 瀬戸内海国立公園 4. 砂丘海岸 — 山陰海岸国立公園

1. 水源である琵琶湖が天然のダムのような役割を果たしており、下流域への流量調節や水利用を安定させている。	2. 九州地方を横断する日本有数の急流河川であり、古くから「筑紫次郎」と呼ばれ激しい洪水を引き起こしてきた。	3. 日本で最も長い河川であり、上流部の雪解け水を利用した発電や米作りが流域の主な産業となっている。	4. 日本で最も流域面積が広く、広大な関東平野の農業用水を確保するために大規模な分水嶺が形成されている。
---	--	--	--